

## 島根県におけるリュウキュウヨシゴイの初記録

脇坂英弥

京都工芸繊維大学繊維学部応用生物学科. 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

リュウキュウヨシゴイ *Ixobrychus cinnamomeus* は琉球列島, 台湾, 中国南東部, フィリピン, インドなどにかけて分布し, 日本ではおもに奄美大島以南で繁殖する留鳥である (高野 1981). 本州でも埼玉県, 和歌山県での観察例があるが (大西 私信), 学術論文として公表されていないことから, 日本鳥学会 (2000) には分布の記載がされていない. 筆者は1999年10月30日, 島根県平田市の斐伊川河口 (35°26'N, 132°52'E, 標高0 m) の河川敷において鳥類標識調査を行なっている際に, リュウキュウヨシゴイを捕獲したので報告する.

調査地は宍道湖の西岸に接する斐伊川河口部から約50m上流の左岸に位置する. この付近一帯は出雲平野の東端にあたり, 周囲には人家も少なく, 水田とその中を流れる斐伊川, 宍道湖の水面だけの開放的な環境が広がる. 兩岸の河川敷には最大幅約100mのヨシ原が広がり, 乾燥化したところにはススキ, セイタカアワダチソウ, タチヤナギなどの群落がモザイク状に形成されている (建設省中国地方建設局出雲工事事務所 1997). 調査地のヨシ原内の水深は0.1~0.3mであった. 捕獲には36mmメッシュのカスミ網をもちい, 直線状に長さ50m, 高さ0.3~2.0mの範囲に設置した. リュウキュウヨシゴイが捕獲されたのは午前6時30分, 本流から約100m離れたヨシ群落の辺縁部であった.

本個体は初列風切, 次列風切, 三列風切および尾羽は一樣な赤褐色であり (図1), 清棲 (1978) と山階 (1941) が示すリュウキュウヨシゴイの特徴と一致していた. ヨシゴイ *I. Sinensis*, オオヨシゴイ *I. Eurhythmus* とともに風切は黒色であるため (清棲1978), 本個体はこの2種でないことは明らかである. また, 本個体の虹彩は淡黄色だが後方は黒色で瞳孔とつながって瓢箪のように見えた. よって虹彩が全て同色で瞳孔が黒く独立して見えるヨシゴイ, サンカノゴイ *Botaurus stellaris*, ミゾゴイ *Gorsachius goisagi*, ズグロミゾゴイ *G. melanophus*, ゴイサギ *Nycticorax nycticorax*, ササゴイ *Butorides striatus* (桐原ほか 2000) ではないと判断できる. よって本個体をリュウキュウヨシゴイと同定した.

本個体は頭部から首の上面にかけて赤褐色で, 背, 小雨覆, 中雨覆, 大雨覆の羽縁には黄白色の斑が散在し, 下面は黄白色で, 喉から脇, 腹には数本の茶褐色の縦斑が見られた. よって上面が一樣の赤褐色で, 喉から腹部にかけて中央に1本の褐色の縦斑がある雄成鳥 (高野 1981) ではないと判断される. しかし羽色は全体的に雌成鳥に比べ淡色で (茂田良光氏 私信), 幼鳥の体上面の各羽には淡黄土色の斑点のような羽縁があるという清棲 (1978) の記述が, 背, 小雨覆, 中雨覆, 大雨覆のところどころに羽縁に黄白色の斑のある羽が見られた本

2001年12月14日 受理

キーワード: 島根県, 斐伊川, リュウキュウヨシゴイ



図1. 斐伊川で捕獲されたりゅうキュウヨシゴイ (撮影:野津登美子氏)

Fig. 1. Cinnamon Bittern *Ixobrychus cinnamomeus* was captured at Hiikawa River. (Photo by T. Notsu.)

個体の特徴と一致するので、本個体を幼鳥であると判断した。性別は不明だった。

測定値は自然翼長130.0mm, 露出嘴峰長44.6mm, 嘴高10.5mm, 嘴幅8.3mm, ふしょ長48.2mm, 体重105gで, 清棲 (1978) の述べる本種の体重130~148gに比べるとやや痩せているように感じられた。

今後、特に九州以北における観察や標識調査により、本種の分布や渡り経路に関する新たな知見が得られることを期待する。

## 謝 辞

原誠道, 野津登美子, 市橋直規, 森茂晃の諸氏には斐伊川で標識調査を行なうにあたり多大な配慮をしていただいた。大西敏一氏には本州での観察記録について教示をしていただいた。片岡宣彦, 茂田良光, 馬場孝雄, 山田真司, 中川宗孝の諸氏にはりゅうキュウヨシゴイの形態や生態について有益な教示をしていただいた。この場をお借りして, お世話になった方々に感謝申し上げる。

## 引用文献

建設省中国地方建設局出雲工事事務所. 1997. 斐伊川水系の鳥類. 建設省中国地方建設局出雲工事事務所, 出雲市.

桐原政志・山形則男・吉野俊幸. 2000. 日本の鳥550水辺の鳥. 文一総合出版, 東京.

清棲幸保. 1978. 増補改訂版日本鳥類大図鑑III. 講談社, 東京.

- 高野伸二. 1981. サギ科 リュウキュウヨシゴイ. カラー写真による日本産鳥類図鑑. p. 205. 東海大学出版会, 東京.
- 日本鳥学会. 2000. 日本鳥類目録改訂第 6 版. 日本鳥学会, 帯広市.
- 山階芳麿. 1941. 日本の鳥類と其の生態第二巻. 岩波書店, 東京.

## The first record of Cinnamon Bittern in Shimane Prefecture

Hideya Wakisaka

Applied Biology, Kyoto Institute of Technology University, Matsugasaki, Sakyo-ku, Kyoto 606-8585, Japan

I captured a Cinnamon Bittern *Ixobrychus cinnamomeus* at Hiikawa River, Shimane Prefecture, western Japan on 30 October 1999. This is the first record of this species in Shimane Prefecture.

*Key words:* Cinnamon Bittern, Hiikawa River, *Ixobrychus cinnamomeus*, Shimane Prefecture